

↳ 路線価の公表

Q : 今年度の路線価は、いつごろ公表されますか？

A : 7月2日に公表されています。

【解説】

さきごろ、国税庁から平成24年分の路線価が公表されました。

それによりますと、標準宅地の前年比の変動率の平均は2.8%下落し、4年連続の下落となっています。

路線価は、全国的に下落していますが、下落幅は縮小しています。特に大都市圏では下落幅が小さく、東京で1.2%(昨年2.0%)、大阪府が1.7%(同3.4%)、愛知県が0.5%(同0.8%)でした。

また、県庁所在都市の最高路線価は、下落が37都市で横ばいが8都市、上昇が2都市でした。下落率は5%未満の都市が13都市で5%以上10%未満の都市が23都市、10%以上の都市が1都市となっており、全国的に下げ止まり傾向が顕著になっています。最高路線価は、東京中央区銀座5丁目の銀座中央通りで2,152万円、次いで大阪北区角田町の680万円、横浜市西区南幸1丁目の588万円、名古屋市東区名駅1丁目の586万円と続きます。

東日本大震災の被災地の県庁所在都市の最高路線価は、仙台市の青葉区中央1丁目が8.7%の下落、福島市の栄町が8.6%、盛岡市の大通2丁目が7.3%の下落となっています。

なお、原発事故の「警戒区域」及び「計画的避難区域」の宅地は、前年分と同様に評価は「0」となっています。

